

令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 福井県 】							
令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) ○県教育委員会担当者(義務教育課指導主事・高校教育課指導主事) ○福井大学准教授 ○市町教育委員会指導主事、日本語支援員 ○学校関係者、管理職、日本語指導担当教員、支援員等 ○福井県国際交流協会担当者							
2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること (1)連絡協議会(研修・意見交換・伝達講習) (2)学校訪問を通じた有識者による相談支援 (3)「特別の教育課程」の編成と作成について周知 (4)成果の普及 (7)タブレット(多言語翻訳アプリをインストールしたもの)や多言語翻訳機等の有効活用についての周知							
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること (1)言語の習得レベルや発達に応じた支援や指導の在り方を共有することができた。また、NITSの研修に参加した教員より伝達講習をしてもらい、研修内容を共有することができた。 (2)各学校や児童生徒の課題や実態に沿いながら、いくつかの支援方法や指導方法などを指導・助言することができた。 (3)児童生徒の実態や課題を把握し、日本語の習得レベルに応じた指導に生かすことができた。 (4)協議会において発達段階に応じた実践内容を報告することで、外国人児童生徒の将来を見据えた支援や指導の在り方を共有することができた。 (7)特に、外国人児童生徒を受け入れたことのない市町や学校に対して、多言語翻訳アプリを入れたタブレットを活用し、児童生徒同士、また教師との意思疎通を行うための有効な活用方法を広めることができた。							
	幼稚園等 ( 園)	小学校 192 人 ( 37校)	中学校 64 人 ( 20校)	義務教育 学校 人 ( 校)	高等学校 人 ( 校)	中等教育 学校 人 ( 校)	特別支援 学校 人 ( 校)
本事業で対応した幼児・児童生徒数							
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数	/	30 人 ( 7校)	22 人 ( 5校)	人 ( 校)	人 ( 校)	人 ( 校)	人 ( 校)
4. その他(今後の取組予定等) ・教育連絡協議会の協議内容を充実させ、日本語指導担当教員等の要望に応じた研修を実施する。 ・外国人の児童生徒が在籍する学校にとって、支援体制構築の一助となるよう、先進校の支援体制や指導方法を他校に広める。							

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。